カメラ

カメラをご利用になる前に 230
静止画を撮影する .....＜静止画撮影＞ 234
動画を撮影する .....＜動画撮影＞ 237
撮影時の設定を変える 239
画像サイズや画質などを設定する 241
バーコードリーダーを利用する .....＜バーコードリーダー＞ 245

■著作権・肖像権
お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

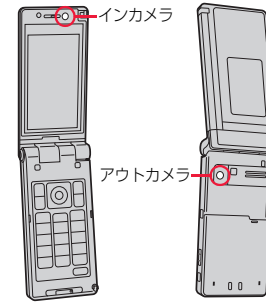
カメラをご利用になる前に

撮影時の留意事項

・撮影前にレンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、柔らかい布できれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などの汚れが付いていると、フォーカスが合わなくなったり、撮影した静止画や動画に汚れが映ったりします。
・撮影時は、レンズに指、髪、ストラップなどがかからないように注意してください。
・撮影するときは、FOMA端末が動かないようにしっかりと持ってください。動くと画像がぶれる原因となります。薄暗いところでは特にぶれやすいのでご注意ください。
・レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の褪色・焼付きを起こすことがあります。
・蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、帯状の縞模様が上下または左右に流れて見える「フリッカー現象」が起こる場合があり、撮影のタイミングによっては、画像の色合いが変わることがあります。
・日光の反射光などの部分的に極端に輝度の高い部分が含まれる被写体を撮影すると、明るい部分の一部分が黒い斑点になることがありますが、故障ではありません。
・カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
・電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
・●(撮影)などを押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差があります。そのため、速く動いている被写体を撮影すると、●(撮影)などを押したときに画面に表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
・microSDカードへ保存中にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。
・ファイル保存中に電源を切った場合など、不完全なファイルが保存されることがあります。
・本体またはmicroSDカードへ保存中に電池パックが抜かれた場合、不確定なデータとなります。
・microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要となります。
microSDカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(P.366参照)

カメラの使用について

カメラを使って静止画や動画を撮影します。
カメラは前面(インカメラ)と背面(アウトカメラ)の2カ所のカメラを切り替えて使います。FOMA端末を閉じた状態で、静止画を撮影することもできます。(P.235参照)
アウトカメラで撮影するときは、フォーカス機能により自動的にフォーカスを合わせることができます。(P.240参照)また、手ブレ補正機能により、ぶれを少なくできます。(P.242参照)



撮影時の主な設定は、機能メニューからだけでなくボタンを操作することで簡単に変更できます。

■撮影時の操作

アイコンメニュー操作	✉
撮影モード選択	✉（1秒以上）
機能メニュー呼出※1	i
フォルダジャンプ	MENU
シャッター・保存	●、○、📷
望遠	▷
広角	◁
フォーカス設定（アウトカメラ使用時）	▽
フォーカス機能（アウトカメラ使用時）	○、✳、📷（半押し）
カメラモード切替※2	📷TV
フラッシュ設定／フォトライト設定※3（アウトカメラ使用時）	▽

アイコン表示※4	▲
画像サイズ設定	1
画質設定	2
高感度撮影（アウトカメラ使用時）	3
明るさ調節	4
ホワイトバランス設定	5
撮影モード選択（「シーン」設定時）	6
セルフタイマー設定※4	7
保存先設定※5	9
カメラ切替※6	✆
カメラ終了（通常時）フォーカスロック解除（フォーカスロック時）	CLR
カメラ終了	⌐

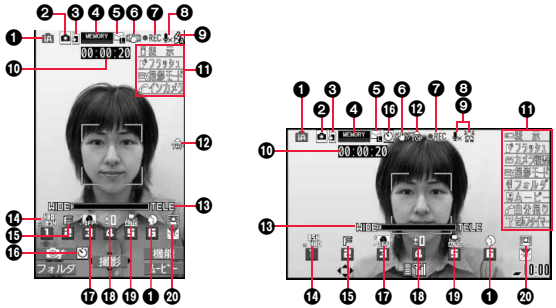
※1 ヨコオープンスタイルでは操作できません。
※2 押すごとに「フォトモード」→「ムービーモード」→「連写モード」の順に切り替え
※3 フォトモードでは押すごとに「オート」→「強制発光」→「常時点灯」→「発光禁止」の順に切り替え
連写・ムービーモードでは押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
※4 押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
※5 押すごとに「本体」「microSD」を切り替え
※6 ノーマルスタイルでは押すごとにインカメラとアウトカメラを切り替え
ヨコオープンスタイルでは押すごとにインカメラ→アウトカメラ→自分撮りの順に切り替え

お知らせ

- カメラ起動中はフォトライトが点灯／点滅します。ムービーモード時に「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定している場合や、インカメラで撮影するときは、着信／充電ランプが点滅します。点灯／点滅は消せません。
- シャッター音の音量を変更したり消去することはできません。また、ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定することもできません。
- 撮影画面で何もボタン操作を行わないと、約3分後にカメラが自動的に終了します。
- 暗い場所で撮影する場合は、「撮影モード選択」を「シーン」の「ナイトモード」に設定したり、「高感度撮影」を「ON」に設定してください。
- アイコンメニューで操作できるのは、「画像サイズ設定」「画質設定」「高感度撮影」「明るさ調節」「ホワイトバランス設定」「撮影モード選択」「フォーカス設定」です。

カメラの設定と撮影画面の見かた

撮影画面には、さまざまな設定がアイコンやバーで表示されています。



アイコン・バー名	アイコン	説明	参照先
❶撮影モード選択	iA	インテリジェントオート	241
		人物	
		風景	
		夜景	
		夜景＋人物 ●フラッシュ設定を「オート」に設定中のみ表示されます。	
		接写	
		通常撮影	
	SCN	シーン	
		ポートレート	
		スポーツ	
		料理	

アイコン・バー名	アイコン	説明	参照先
❶撮影モード選択		風景	241
		ナイトモード	
		逆光	
		文字	
		雪	
		夕焼け	
		ペット	
❷カメラモード		フォトモード	234
		ムービーモード	237
	A・M・	連写モード(オート・マニュアル・オートブラケット)	235
❸保存先設定		本体	242
		microSD	
❹記録可能枚数	–	静止画の残り撮影可能枚数 ●999枚まで表示されます。	–
使用メモリ量バー	MEMORY	ムービーモード時のメモリ使用状況(目安) ●メモリがいっぱいのときは赤色で表示されます。	–
❺動画容量設定	S	メール制限(小)	241
	L	メール制限(大)	
	4GB	長時間	
❻手ブレ補正		オート	242
❼撮影状態	●REC	動画撮影中	237
❽撮影種別設定		映像のみ録画	243

アイコン・バー名	アイコン	説明	参照先
❾フラッシュ設定		オート	240
		強制発光	
		常時点灯	
		発光禁止	
フォトライト設定		ON	
		OFF	
❿記録可能時間	−	動画の記録可能時間(目安)	−
⓫ボタンガイダンス	−	ボタン操作を表示します。	−
⓬天地アイコン		撮影時の上下方向を示します。	−
⓭ズームバー		望遠・広角の状態	239
⓮画像サイズ(フォト・連写モード)		アウトカメラフォト 8M(2448×3264)	241
		6Mワイド(1836×3264)	
		5M(1944×2592)	
		3M(1536×2048)	
		2M(1200×1600)	
		2Mワイド(1080×1920)	
		待受(480×854)	
		インカメラフォト 連写 VGA(480×640)	
		QVGA(240×320)	
		QCIF(144×176)	
		Sub-QCIF(96×128)	

アイコン・バー名	アイコン	説明	参照先
⓮画像サイズ(ムービーモード)		VGA(640×480)	241
		HVGAワイド(640×352)	
		QVGA(320×240)	
		QCIF(176×144)	
		Sub-QCIF(128×96)	
⓯画質設定		ノーマル	241
		ファイン	
		スーパーファイン	
⓰連続撮影枚数	1/4・1/4	連写モードのマニュアル時の撮影枚数 ●ヨコオープンスタイルでは❼の位置に表示されます。	243
セルフタイマー設定		ON	245
⓱高感度撮影		ON	242
		OFF	
⓲明るさ調節		撮影画像の明るさ	242
⓳ホワイトバランス設定		オート	242
		晴天	
		曇天	
		電球	
		蛍光灯	
⓴フォーカス設定		顔認識	242
		オート	
		接写	
		風景	

<静止画撮影>

静止画を撮影する

●保存した静止画を再生するには、P.340参照。

静止画を撮影する

1 [TV]または[カメラ]（1秒以上）を押す

●[MENU]▶LifeKit▶カメラ」の操作を行うとカメラメニューが表示されます。カメラメニューから「フォトモード」を選択しても起動できます。
●「スタイル連動設定」を「カメラ」に設定しているときは、待受画面でヨコオープンスタイルに切り替えても、フォトモードでカメラを起動できます。
●カメラメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。（P.32参照）

撮影画面

2 ●（撮影）、○または[カメラ]を押す

静止画を撮影します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。
●アウトカメラで撮影するときに「フォーカス設定」を「顔認識」または「オート」にしていると、フォーカス動作後に撮影されます。
●アウトカメラ使用時、[カメラ]を押して撮影するときは、[カメラ]（半押し）でフォーカスを合わせることができます。（P.240参照）
●インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示（鏡像）されますが、再生時は正常に表示されます。
●アウトカメラ使用時に撮影画面でFOMA端末を閉じると、プライベートウィンドウに撮影画面が表示され、FOMA端末を閉じた状態で静止画を撮影することができます。（P.235参照）
●「自動保存設定」を「ON」に設定している場合は、自動的に保存されます。

3 ●（保存）、○または[カメラ]を押す

撮影した静止画が本体の「マイピクチャ」内の「カメラ」フォルダまたはmicroSDカードに保存されます。
●保存先を選択するには「保存先設定」、「保存先フォルダ選択」参照。
●インカメラで撮影した場合は、[i-α]（機能）を押して「鏡像保存」を選択すると、鏡像（左右反転）で保存できます。
●[CLR]を押すと撮影した静止画を取り消して撮影画面に戻ります。

ポストビュー画面

アウトカメラで自分を撮影するときは

ヨコオープンスタイル時に、プライベートウィンドウで撮影画面を確認しながら、自分を撮影します（自分撮り）。
1. ヨコオープンスタイルの撮影画面で[通話]を数回押して、プライベートウィンドウに撮影画面を表示する
2. [カメラ]を押す

●[▲][▼]を押すとズーム倍率を調節できます。
●[カメラ]（半押し）でフォーカスを合わせることができます。（P.240参照）
●撮影時の設定は「フラッシュ設定」のみ変更できます。
●ポストビュー画面はディスプレイに表示されます。ポストビュー画面で[CLR]を押すと、撮影した静止画を取り消して撮影画面がプライベートウィンドウに表示されます。●、○または[カメラ]を押して撮影した静止画を保存した場合は、撮影画面がディスプレイに戻ります。
●ポストビュー画面で[i-α]（機能）を押して「鏡像保存」を選択すると、鏡像（左右反転）で保存できます。
●○～[9]、[*]、[#]、[CLR]、[メール]、[i-α]、[MENU]、[TV]、[カメラ]、●を押すと、撮影画面がプライベートウィンドウからディスプレイに切り替わります。

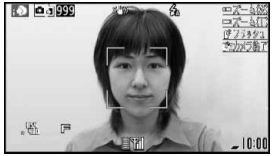
FOMA端末を閉じた状態で静止画を撮影する

FOMA端末を閉じた状態でも、プライベートウィンドウで撮影画面を確認しながら静止画を撮影することができます。

1 FOMA端末を閉じた状態で[カメラ]を1秒以上押す

プライベートウィンドウに撮影画面が表示されます。

- [▲][▼]を押すとズーム倍率を調節できます。
- 撮影時の設定は「フラッシュ設定」のみ変更できます。
- [C]を1秒以上押すとカメラが終了します。
- 「保存先設定」に設定している保存先の空き容量が少ない場合、FOMA端末を閉じた状態で撮影できないことがあります。



撮影画面
（プライベートウィンドウ）

2 [カメラ]を押す

静止画撮影をします。ポストビュー画面は表示されず、撮影した静止画は本体の「マイピクチャ」内の「カメラ」フォルダまたはmicroSDカードに自動的に保存されます。

- 「フォーカス設定」を「顔認識」または「オート」にしていると、フォーカス動作後に撮影されます。
- [カメラ]（半押し）でフォーカスを合わせることができます。（P.240参照）

連続撮影する

静止画を連続撮影します。撮影枚数やオート撮影時の撮影間隔を設定できます。（P.243参照）

1 [TV]または[カメラ]（1秒以上）▶[TV]（ムービー）▶[TV]（連写）

- 「オート」「マニュアル」「オートブラケット」のうち、前回起動したモードで起動します。連写モードを変更するには「連写設定」の「連写モード設定」参照。

撮影画面

2 [●]（撮影）、[○]または[カメラ]を押す

連続撮影を開始します。

「連写モード設定」を「マニュアル」に設定している場合は、撮影枚数分[●]（撮影）、[○]または[カメラ]を押します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

- アウトカメラで撮影するときに「フォーカス設定」を「オート」にしていると、フォーカス動作後に撮影されます。
- アウトカメラ使用時、[カメラ]を押して撮影するときは、[カメラ]（半押し）でフォーカスを合わせることができます。（P.240参照）
- 撮影を途中で中止する場合は[CLR]を押します。「連写モード設定」を「オート」または「オートブラケット」モードで撮影している場合は、[✉]（中止）を押しても撮影を中止できます。また、FOMA端末を閉じても撮影を中止します。
- インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示（鏡像）されますが、再生時は正常に表示されます。
- 「自動保存設定」を「ON」に設定している場合は、自動的に保存されます。

つづく

3 1枚だけ選択して保存する場合

静止画を選んで(詳細)▶●(保存)、○または📷

- 詳細表示画面で●を押すと、前または次の静止画を表示します。
- インカメラで撮影した場合は、詳細表示画面でi☒(機能)を押して「鏡像保存」を選択すると、鏡像(左右反転)で保存できます。

ポストビュー画面

詳細表示画面

複数の静止画を選択して保存する場合

保存したい静止画を選んで●(選択)、○または📷▶✉(保存)▶保存・鏡像保存

- 選択した静止画には「☑」が付きます。

すべての静止画を保存する場合

✉(全保存)▶保存・鏡像保存

撮影した静止画が本体の「マイピクチャ」内の「カメラ」フォルダまたはmicroSDカードに保存されます。

- 保存先を選択するには「保存先設定」、「保存先フォルダ選択」参照。
- ポストビュー画面でCLRを押すと撮影した静止画を取り消して撮影画面に戻ります。

お知らせ

- ヨコオープンスタイルで保存する場合は、すべて正像で保存されます。

お知らせ

- 「画像サイズ設定」や「表示サイズ設定」により画質が粗くなることがあります。
- 撮影時にはマナーモードなどの設定に関わらず「シャッター音選択」で選択した音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。
- 撮影中にメールを受信しても撮影動作は継続されます。未読メールアイコンは表示されますが、メール受信画面は表示されません。
- 撮影中にマルチタスクによりカメラ機能が終了した場合などは、未保存の静止画は削除されます。
- 撮影時に動くと画像がぶれる原因となりますので撮影の際はFOMA端末をしっかり固定してください。
- フォトモードで撮影時は、フラッシュが「フラッシュ設定」の設定に従って動作します。
- 連写モードのオート・オートブラケットは撮影時にフォトライトが点灯します。連写モードのマニュアルはフォトライトが点滅します。ただし、「フォトライト設定」を「ON」に設定しているときは、連写モードのマニュアルの場合でもフォトライトが点灯します。

フォトモードのポストビュー画面・連写モードの詳細表示画面の機能メニュー

保存	P.234、P.236参照
鏡像保存	P.234、P.236参照
iモードメール添付	撮影した静止画を保存し、iモードメールに添付します。P.146手順2へ進みます。 ●✉(✉)を押してもiモードメールを作成できます。
位置情報付加	▶項目を選択 **現在地確認から付加** ... 現在地を測位して(P.328参照)位置情報を登録します。位置情報を確認し、●(確定)を押します。 **位置履歴から付加** ... 位置履歴(P.332参照)から位置情報を選択して登録します。

ピクチャ貼付	撮影した静止画を保存し、待受画面などに貼り付けて表示します。 P.341「ピクチャ貼付」へ進みます。 ●「保存先設定」を「microSD」に設定していても、本体に保存されます。
フレーム取替え	フレームを合成して撮影した静止画のフレームを取り替えます。 ▶**フレームを選択** ●(○)を押すと、前または次のフレームを表示します。 ●フレームを選択し直す場合は(✉)(取消)を押します。 ▶(●)(確定) ●フレームの解除はできません。
保存先設定	P.242参照
正像表示・鏡像表示	正像表示と鏡像(左右反転)表示を切り替えます。
表示サイズ設定	P.243参照
ファイル制限	P.244参照
アイコン表示	P.243参照
取り消し	撮影した静止画を保存しません。

お知らせ

<iモードメール添付>

●ファイルサイズが2Mバイトより大きいときは、2Mバイト以下に変換します。この場合、変換前の静止画と変換後の静止画が本体の「マイピクチャ」内の「カメラ」フォルダに保存されます。

連写モードのポストビュー画面の機能メニュー

保存	P.236参照
全保存&自作アニメ	撮影した全静止画を保存し、自作アニメとして登録します。 ▶**保存・鏡像保存**▶**<未登録>**
保存先設定	P.242参照
正像表示・鏡像表示	正像表示と鏡像(左右反転)表示を切り替えます。
ファイル制限	P.244参照
取り消し	撮影した静止画を保存しません。

お知らせ

<全保存&自作アニメ>

●「保存先設定」を「microSD」に設定しているときは、この機能は使用できません。

●1枚だけ撮影した場合は、この機能は使用できません。

<動画撮影>

動画を撮影する

●保存した動画を再生するには、P.348参照。

1 (TV)または(●)(1秒以上)

▶(TV)(ﾑｰﾋﾞｰ)

●「(MENU)▶LifeKit▶カメラ」の操作を行うとカメラメニューが表示されます。カメラメニューから「ムービーモード」を選択しても起動できます。

●カメラメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。(P.32参照)

撮影画面

2 (●)(撮影)、(○)または(●)を押す

録画を開始します。

●アウトカメラで撮影するときに「フォーカス設定」を「オート」にしていると、フォーカス動作後に撮影が始まります。撮影中は「フォーカス設定」に関わらず、自動的に被写体にフォーカスを合わせます。

●アウトカメラ使用時、(●)を押して撮影するときは、(●)(半押し)でフォーカスを合わせることができます。(P.240参照)

●インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示(鏡像)されますが、再生時は正常に表示されます。

つづく

3 ●(終了)、○または📷を押す

録画を終了します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

- ●録画中に電話がかかってきた場合、電池切れアラームが鳴った場合、FOMA端末を閉じた場合は、自動的に録画が終了します。
- ●「自動保存設定」を「ON」に設定している場合や「動画容量設定」を「長時間」に設定している場合は、自動的に保存されます。

4 ●(保存)、○または📷を押す

撮影した動画が本体の「iモーション」内の「カメラ」フォルダまたはmicroSDカードに保存されます。

- ●保存先を選択するには「保存先設定」、「保存先フォルダ選択」参照。
- ●CLRを押すと撮影した動画を取り消して撮影画面に戻ります。

ポストビュー画面

撮影中に録画が終了したり画質が悪くなったときは

データの保存や削除を繰り返しているmicroSDカードを使用していると、データの書き込み速度が遅くなり、途中で録画が終了したり画質が悪くなったりすることがあります。

以下の操作を行うと改善される場合があります。

1.microSDカード内のすべてのデータを、そのままパソコンにコピーする。

- ●パソコンの設定で、隠しフォルダや隠しファイルが表示されない設定になっている場合は、表示される設定に変更してから操作してください。設定の変更方法についてはお使いのパソコンの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- ●パソコン上にコピーしたデータのフォルダ名やファイル名は変更しないでください。

2.パソコンでmicroSDカード内のすべてのデータを削除する。

- ●フォーマットしないでください。データが再生できなくなる場合があります。

3.手順1でコピーしておいたデータを、microSDカードにコピーして戻す。

- ●必ず同じmicroSDカードにコピーして戻してください。他のmicroSDカードに保存しても、著作権のあるデータは再生できません。

お知らせ

- ●撮影開始時・終了時にはマナーモードなどの設定に関わらず「シャッター音選択」で選択した音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。
- ●録画中・録音中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。
- ●録画中はフォトライトが点灯／点滅します。
- ●撮影中、遠近の差のあるものに被写体を変えると、ピントが合うまでに時間がかかります。
- ●被写体によりピントが合いにくい場合は、被写体を変えるとピントが合う場合があります。
- ●暗いところではフォーカスを合わせる動作は遅くなります。

ムービーモードのポストビュー画面の機能メニュー

再生	P.348参照
保存	P.238参照
iモードメール添付	撮影した動画を保存し、iモードメールに添付します。P.146手順2へ進みます。 ●✉(メール)を押してもiモードメールを作成できます。
待受画面設定	撮影した動画を保存し、待受画面に設定します。
待受画面設定(横)	
保存先設定	P.242参照
表示サイズ設定	P.243参照
ファイル制限	P.244参照
アイコン表示	P.243参照
取り消し	撮影した動画を保存しません。

お知らせ

＜待受画面設定＞＜待受画面設定(横)＞

- ●動画によっては、正しく表示されない場合があります。
- ●待受画面に設定した動画の再生についてはP.111参照。

撮影時の設定を変える

撮影時にカメラの設定をします。

ズームを使う

カメラで写している映像を広角(WIDE)・望遠(TELE)で表示します。
各サイズにおける最大倍率は、以下のとおりです。

■アウトカメラ

カメラモード	サイズ	ズーム段階	最大倍率
フォト	8M(2448×3264)	21段階	約2.5倍
	6Mワイド(1836×3264)	21段階	約2.5倍
	5M(1944×2592)	21段階	約2.5倍
	3M(1536×2048)	21段階	約2.5倍
	2Mワイド(1080×1920)	21段階	約2.5倍
	2M(1200×1600)	21段階	約2.5倍
	待受(480×854)	21段階	約2.5倍
	VGA(480×640)	21段階	約2.5倍
	QVGA(240×320)	31段階	約5.1倍
	QCIF(144×176)	31段階	約8.5倍
	Sub-QCIF(96×128)	31段階	約12.7倍
連写	VGA(480×640)	21段階	約2.5倍
	QVGA(240×320)	31段階	約5.1倍
	QCIF(144×176)	31段階	約8.5倍
	Sub-QCIF(96×128)	31段階	約12.7倍
ムービー(手ブレ補正:オート)	VGA(640×480)	21段階	約1.9倍
	HVGAワイド(640×352)	21段階	約1.9倍
	QVGA(320×240)	31段階	約2.8倍(約3.8倍)
	QCIF(176×144)	31段階	約5.2倍(約6.3倍)
	Sub-QCIF(128×96)	31段階	約7.1倍(約9.5倍)
ムービー(手ブレ補正:OFF)	VGA(640×480)	21段階	約2.5倍
	HVGAワイド(640×352)	21段階	約2.5倍
	QVGA(320×240)	31段階	約3.8倍(約5.1倍)
	QCIF(176×144)	31段階	約6.9倍(約8.5倍)
	Sub-QCIF(128×96)	31段階	約9.5倍(約12.7倍)

●ノーマルスタイル、ヨコオープンスタイルで最大倍率が異なる場合は、ヨコオープンスタイルでの最大倍率を()内に記載しています。

■インカメラ

カメラモード	サイズ	ズーム段階	最大倍率
フォト／連写	VGA(640×480)	1段階	約1.0倍
	QVGA(240×320)	1段階	約1.0倍
	QCIF(144×176)	6段階	約1.5倍
	Sub-QCIF(96×128)	21段階	約2.1倍
ムービー	VGA(640×480)	1段階	約1.0倍
	HVGAワイド(640×352)	1段階	約1.0倍
	QVGA(320×240)	1段階	約1.0倍
	QCIF(176×144)	6段階	約1.9倍(約1.5倍)
	Sub-QCIF(128×96)	21段階	約2.8倍(約2.1倍)

●ノーマルスタイル、ヨコオープンスタイルで最大倍率が異なる場合は、ヨコオープンスタイルでの最大倍率を()内に記載しています。

1 撮影画面▶[ ]でズーム倍率を調節

お知らせ

●広角・望遠にすると画質は多少変化することがあります。
●以下の場合、望遠は解除されます。
・[ ]を押してカメラを終了したとき
・サイズを変更したとき
・カメラモードを切り替えたとき

フォーカス機能を使う

アウトカメラで撮影するときに、フォーカスを合わせます。

- 「フォーカス設定」を「顔認識」に設定している場合は、はじめに人物の顔を検出します。顔を検出すると黄色の枠が表示されます。最大5人までの顔を検出し、顔の大きさや位置に合わせて自動的にその中の1人にフォーカスを合わせて撮影します。複数の人物の顔がある場合は、フォーカスを合わせる顔の枠が黄色になります。検出に失敗した場合は、「オート」でフォーカスを合わせます。
- フォーカス機能は約10cm以上の距離でフォーカスが合います。

1 撮影画面▶[カメラ]、[✳]または[●](半押し)

フォーカスが合うとロック音が鳴って枠が緑色になり、フォーカスがロックされます。

フォーカスが合わなかった場合は枠が赤色になります。

- [カメラ]や[✳]を押してロックしたフォーカスを解除する場合は[CLR]を押します。
- [●](半押し)でフォーカスがロックされているときに、そのまま[●]を深く押すと撮影されます。[●](半押し)を離すとフォーカスのロックが解除されます。

お知らせ

- ムービーモード時に「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定している場合は、フォーカス機能は使用できません。
- 「顔認識」はフォトモード時のみ設定できます。
- 「顔認識」に設定していても、以下の場合は顔を検出できないことがあります。
  - ·顔が横や斜めを向いている場合
  - ·顔が傾いている場合
  - ·眼鏡や帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている場合
  - ·顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い場合
  - ·顔が画面の端にある場合
- 「顔認識」で顔を検出できる距離は約2.5m以内です。

フラッシュ設定・フォトライト設定

カメラ起動時	フォトライト設定:OFF

暗い場所などでアウトカメラを使用して撮影するときに、フラッシュ／フォトライトを補助光として点灯させるかどうかを設定します。

1 撮影画面▶[i-αα](機能)

2 フォトモードの場合

フラッシュ設定

▶フラッシュ／フォトライトの動作を選択

オート . . . . . 撮影する場面に応じて自動的にフラッシュが光ります。
強制発光 . . . . 撮影の瞬間にフラッシュが強制的に光ります。
常時点灯 . . . . フォトライトが点灯します。
発光禁止 . . . . 撮影するときにフラッシュ／フォトライトが光りません。

連写・ムービーモードの場合

フォトライト設定▶ON・OFF

- 「フラッシュ設定」を「常時点灯」に設定中や、「フォトライト設定」を「ON」に設定していても、機能メニューやポストビュー画面が表示されると消灯します。

お知らせ

- 「撮影モード選択」を「インテリジェントオート」に設定している場合、「フラッシュ設定」を「強制発光」には設定できません。
- 電池残量がほとんど残っていないときは、「フラッシュ設定」は「発光禁止」、「フォトライト設定」は「OFF」に設定されます。
- 「フラッシュ設定」を「発光禁止」以外に設定中に、カメラを終了したり、インカメラに切り替えた場合、次回カメラ起動時や再びアウトカメラに切り替えたときは、「フラッシュ設定」は「オート」に設定されます。「発光禁止」に設定していた場合は、設定は保持されます。ただし、電池残量がほとんど残っていないときに「発行禁止」に設定された場合は、設定は保持されません。
- フラッシュ使用時の適正撮影距離は約40～100cmです。

お知らせ

- 「発光禁止」に設定していても、カメラ起動中や撮影時はフォトライトが点灯／点滅します。
- ムービーモード時に「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定している場合、フォトライトは使用できません。
- 近くで撮影すると適正露出にならず、白っぽくなる場合があります。

画像サイズや画質などを設定する

撮影画面の機能メニュー

インカメラ・アウトカメラ	インカメラとアウトカメラを切り替えます。
カメラモード切替	▶**モードを選択** ●「連写モード」に設定した場合は、「オート」「マニュアル」「オートブラケット」のうち、前回起動していたモードで起動します。
フォルダジャンプ ［フォト・連写モード］	カメラの保存先のフォルダ内を表示します。
撮影モード選択	撮影する際に、場面に適した撮影モードを設定します。設定を変更すると、「撮影設定」の「明るさ調節」「ホワイトバランス設定」「色調切替」「フォーカス設定」が選択したモードに合わせて変更されます。 ▶**撮影モードを選択** **インテリジェントオート** . . . . . フォトモードで撮影する際に、被写体や撮影状況に合わせて撮影モードを自動で判別し、切り替えます。撮影モードが切り替わると、アイコンがアニメーション表示されてお知らせします。 **通常撮影**. . . 通常のモードで撮影します。 **シーン** . . . . 撮影する場面に合わせて撮影モードを選択します。 ●「インテリジェントオート」に設定すると、「撮影設定」の「明るさ調節」「ホワイトバランス設定」「色調切替」「フォーカス設定」は自動で切り替わり、変更できません。 ●「インテリジェントオート」に設定中の「夜景」と「夜景＋人物」の撮影モードは、フォーカス機能(P.240参照)を使用したときに判別を行います。
画像サイズ設定	▶**画像サイズを選択**
動画容量設定 ［ムービーモードのみ］	▶**項目を選択** **メール制限(小)** . . . 500Kバイトまで撮影できます。 **メール制限(大)** . . . 2Mバイトまで撮影できます。 **長時間** . . . . . 長時間撮影できます。microSDカードに保存します。
画質設定	保存する際の画質を設定します。 ▶**画質を選択** **ノーマル**. . . . . .標準の画質で撮影します。 **ファイン**. . . . . .やや高画質で撮影します。 **スーパーファイン**. . . .高画質で撮影します。
撮影設定	

明るさ調節
カメラ起動時
±0

−3(暗い)〜+3(明るい)で調節します。
▶**明るさを選択**

ホワイトバランス設定
カメラ起動時
オート

カメラで写している映像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。
▶**項目を選択**
オート.... ホワイトバランスを自動調整するとき
晴天 ..... 屋外晴天下で撮影するとき
曇天 ..... 曇天や日陰で撮影するとき
電球 ..... 電球照明下で撮影するとき
蛍光灯.... 蛍光灯照明下で撮影するとき

色調切替
カメラ起動時
通常

▶**色調を選択**
通常 ..... 標準の色調で撮影します。
セピア..... セピア調で撮影します。
白黒 ..... 白黒調で撮影します。
ヴィヴィッド... 輪郭をくっきりさせて彩度を上げて撮影します。
ナチュラル .... 輪郭をなめらかにさせて彩度を下げて撮影します。
美白 ..... 顔を明るめに撮影します。
日焼け..... 顔の色合いを濃くして撮影します。

フォーカス設定
カメラ起動時
フォトモード:顔認識
連写・ムービーモード:オート

アウトカメラのフォーカスを設定します。
▶**項目を選択**
顔認識.... 人物の顔にフォーカスを合わせます。
オート.... 撮影前に自動的にフォーカスを合わせます。(P.240参照)
接写 ..... 近くの物にフォーカスを合わせます。
風景 ..... 遠い風景にフォーカスを合わせます。
●「顔認識」はフォトモード時のみ設定できます。

手ブレ補正
[フォト・ムービーモード]

アウトカメラで撮影するときの手ブレを補正します。
▶**オート・OFF**

フレーム撮影
カメラ起動時
OFF
[フォトモードのみ]

フレームを合成して撮影します。
▶**ON・OFF**▶**フレームを選択**

シャッター音選択

シャッター音を設定します。フォトモード時(連写モード時)とムービーモード時それぞれ個別のシャッター音が設定できます。
▶**シャッター音を選択**
●選択中は、確認のためシャッター音が鳴ります。

ちらつき補正設定

アウトカメラで撮影時の撮影画面のちらつきを抑制します。
▶**自動・モード1(50Hz地域)・モード2(60Hz地域)**

保存設定

保存先設定

撮影した静止画や動画の保存先を設定します。
▶**本体・microSD**

自動保存設定

撮影後、自動的に保存するかどうかを設定します。「保存先設定」が「本体」のときは「カメラ」フォルダ内、「保存先設定」が「microSD」のときは「保存先フォルダ選択」で設定したフォルダ内に保存されます。
▶**ON・OFF**

ファイル制限

P.244参照

高感度撮影
カメラ起動時
OFF
[フォトモードのみ]

アウトカメラ使用時に高感度で撮影します。
▶**ON・OFF**

フラッシュ設定
[フォトモードのみ]

P.240参照

フォトライト設定
[連写・ムービーモード]

P.240参照

セルフタイマー設定

P.245参照

連写設定

連写モード設定 [連写モードのみ]	▶**モードを選択** **オート** . . .「撮影間隔」、「撮影枚数」で設定した間隔、枚数を自動で撮影します。 **マニュアル** . . .「撮影枚数」で設定した枚数を1枚ずつ手動で撮影します。 **オートブラケット** . . . 約0.3秒間隔で9枚の静止画を1枚ずつ明るさや色調を変えて自動で撮影します。 ●「マニュアル」に設定すると連続撮影枚数が表示されます。
撮影間隔 [連写モードのみ]	▶**撮影間隔を選択** ●連写モードのオート時のみ設定できます。
撮影枚数 [連写モードのみ]	▶**撮影枚数(枚)を入力** ●「画像サイズ設定」が「VGA(480×640)」に設定されている場合、「撮影枚数」は変更できません。 ●連写モードのオート・マニュアル時のみ設定できます。
撮影種別設定 カメラ起動時 通常 [ムービーモードのみ]	動画撮影時に映像と音声の両方、またはどちらか一方のみを記録するように設定します。 ▶**通常・映像のみ・音声のみ**
表示サイズ設定	撮影画面で静止画・動画を本来のサイズで表示(等倍表示)するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶**等倍表示・画面サイズで表示**
共通再生モード [ムービーモードのみ]	iモードメールの添付に適した撮影サイズに設定します。 ▶**YES** ●画像サイズ設定が「QCIF」、動画容量設定が「メール制限(小)」、画質設定(ムービーモード)が「ノーマル」に設定されます。
アイコン表示	アイコンを表示するかどうかを設定します。 ▶**ON・OFF**
保存容量確認	保存容量(目安)／件数を表示します。

お知らせ

<インカメラ・アウトカメラ>

- 「画像サイズ設定」を「待受(480×854)」以上に設定している場合は、インカメラに切り替えると「VGA(640×480)」で起動します。

<撮影モード選択>

- 「インテリジェントオート」に設定していても、フォーカスをロックしたあとは撮影モードは切り替わりません。撮影モードを判別し直すには、フォーカスのロックを解除してください。
- ナイトモード時は露光が長くなり画像がぶれやすくなるので、ご注意ください。
- 意図した場面に合わせて撮影する場合は、目的にあった撮影モードで撮影してください。

<動画容量設定>

- 「長時間」に設定した場合、「保存先設定」が「microSD」に設定されます。その後、カメラを終了せずに「動画容量設定」を「長時間」以外に切り替えると、「保存先設定」は「本体」に戻ります。

<手ブレ補正>

- 手ブレ補正機能はあくまでも手ブレを軽減するものであり、効果は被写体や条件によって異なります。
- 以下のような場合は、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  ・手ブレが大きいとき　・ズームを使っているとき
  ・動きのある被写体を撮影しているとき
- フォトモード時に「撮影モード選択」を「シーン」の「スポーツ」・「ナイトモード」・「ペット」に設定した場合は、「手ブレ補正」は無効になります。
- 被写体が動いていて、被写体の動いている箇所に残像が残る場合や、全体にノイズ感が出る場合があります。このような場合は、「OFF」に設定してください。
- ムービーモード時は手ブレ補正の処理に周辺の画素が使用されますので、「オート」「OFF」の設定によって撮影範囲が異なります。
- インカメラでは手ブレ補正は使用できません。

お知らせ

＜フレーム撮影＞

- 「画像サイズ設定」を「2M(1200×1600)」以上に設定している場合はフレームを合成できません。
- インカメラでフレーム付きの静止画を撮影して保存すると、自動的に正像表示に変換されるのに伴い、フレームも反転します。
- フレームを合成して撮影した静止画は、鏡像で保存できません。

＜ちらつき補正設定＞

- 「自動」に設定した場合、自動調整に時間がかかることがあります。その場合、撮影場所の電源周波数に合わせてモード1・モード2に切り替えてください。

＜保存設定＞

- microSDカード内の保存先を設定するには「保存先フォルダ選択」参照。
- 「動画容量設定」を「長時間」に設定した場合は、「保存先設定」は「microSD」に設定され、「保存設定」は操作できません。
- 「自動保存設定」が「ON」の場合、「保存先フォルダ選択」が設定されていない場合や設定されたフォルダが削除された場合は、最新のフォルダに保存されます。

＜高感度撮影＞

- 「ON」に設定している場合、「画像サイズ設定」を「2Mワイド(1080×1920)」以上には設定できません。
- 「画像サイズ設定」を「2Mワイド(1080×1920)」以上に設定している場合に「高感度撮影」を「ON」に設定すると、「画像サイズ設定」は「2M(1200×1600)」に変更されます。その後、カメラを終了せずに「画像サイズ設定」を変更することなく「高感度撮影」を「OFF」に切り替えると、「高感度撮影」を「ON」に設定する前の画像サイズに戻ります。

＜連写モード設定＞

- インカメラでは「オートブラケット」に設定できません。アウトカメラで「オートブラケット」に設定中にインカメラに切り替えた場合は、「オート」に設定されます。

＜撮影枚数＞

- 画像サイズによって設定できる枚数は異なります。設定できる枚数については以下のとおりです。

VGA(480×640)　:4枚
QVGA(240×320)　:5枚～10枚
QCIF(144×176)　:5枚～20枚
Sub-QCIF(96×128) :5枚～20枚

お知らせ

＜表示サイズ設定＞

- 「画像サイズ設定」を「HVGAワイド(640×352)」以上に設定している場合は、常に「画面サイズで表示」になります。
- 「画像サイズ設定」を「QCIF(144×176)」、「Sub-QCIF(96×128)」に設定している場合、「等倍表示」では縦横2倍のサイズで表示されます。
- 撮影画面での設定はポストビュー画面にも反映されますが、ポストビュー画面での設定は撮影画面には反映されません。

＜共通再生モード＞

- 「動画容量設定」を「長時間」に設定している場合は操作できません。

ファイル制限

撮影中の静止画や動画を保存したときのファイル制限を設定します。一次配布で受け取った側がiモードメールに添付できなくなります。

1 撮影画面▶iα(機能)▶保存設定▶ファイル制限
または
フォトモード、ムービーモード、連写モードのポストビュー画面・連写モードの詳細表示画面▶iα(機能)▶ファイル制限

2 なし・あり

- 連写モードのポストビュー画面の場合、チェックを入れた画像に対してファイル制限の設定を変更できます。

お知らせ

- 「ファイル制限」を「あり」にした場合でも、赤外線通信機能で送信したり、microSDカードにコピーすることで静止画や動画を送り先の携帯電話から出力できます。
- 保存後もP.342「ファイル制限」で設定を変更できます。
- ムービーモード時に「動画容量設定」を「長時間」に設定した場合は、「ファイル制限」は「なし」になります。

セルフタイマー設定

カメラ起動時	OFF

1 撮影画面▶(機能)▶セルフタイマー設定▶ON・OFF▶作動時間(秒)を入力

●「01」～「15」の2桁を入力します。

セルフタイマー設定を「ON」に設定したときは

撮影画面に「」が表示されます。

(●)(撮影)または[カメラ]を押すと確認音が鳴り、「」が点滅します。「フラッシュ設定」を「常時点灯」以外に設定している場合は、撮影の約5秒前までは約1秒ごとにフォトライトが点滅します。撮影の約5秒前からは約0.5秒ごとにフォトライトが点滅し、約1秒ごとに確認音が鳴ります。設定している作動時間の経過後に撮影されます。

●撮影を中止する場合は、フォトライトが点滅中に(✉)(中止)または(CLR)を押します。撮影を中止しても「セルフタイマー設定」は「ON」のままです。

●セルフタイマー作動中に(●)(撮影)または[カメラ]を押すとすぐに撮影できます。

●撮影時にはマナーモードなどの設定に関わらず確認音が鳴ります。確認音の音量は変更できません。

お知らせ

●連写モードのマニュアル時はセルフタイマーで撮影できません。

●撮影が終了するとセルフタイマーは「OFF」になります。

<バーコードリーダー>

バーコードリーダーを利用する

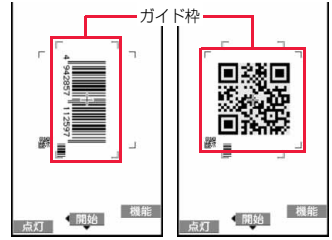
アウトカメラを使ってJANコードやQRコードを読み取り、データとして登録できます。また、CODE128は、対応しているiアプリをダウンロードして、コードを読み取ると、データが登録できます。(P.293参照)データを使って電話をかけたり、iモードメールの作成、インターネット接続などができます。

■バーコードリーダーで読み取りを行うときは

●できるだけコードがガイド枠内に大きく写るようにします。

●オートフォーカスは約10cm以上の距離でフォーカスが合います。フォーカスが外れた状態で読み取りを行った場合は、認識率が低下します。

●コードに対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。



コード読取画面

■JANコードとは

幅の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードです。

読み取れるのは8桁(JAN8)または13桁(JAN13)のJANコードです。

●FOMA端末で読み取ると「4942857112597」と表示されます。

■QRコードとは

縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。読み取ると、漢字・カナ・英数字・絵文字が表示されます。画像やメロディ情報を持つQRコードもあります。

●FOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

つづく

■CODE128とは

幅の異なる縦の線(バー)で、アスキーコード128文字(数字、アルファベット、記号など)を表現しているバーコードです。

●対応しているｉアプリをダウンロードして読み取ると「NTT DOCOMO」と表示されます。

コード読み取り

バーコードリーダー起動時	フォトライト:OFF 明るさ:±0 ズーム:拡大

読み取ったデータは5件まで登録できます。
最大で16個まで分割されたQRコードを読み取れます。

1 (MENU)▶LifeKit▶バーコードリーダー▶コード読み取り

●バーコードリーダー機能をデスクトップに貼り付けたり、マルチボタン長押し登録に登録しておくこともできます。(P.32、P.410参照)

2 読み取りたいコードをガイド枠に合わせて(●)を押す

フォーカスが合うとロック音が鳴り、十字マークが緑色になります。

●(MENU)を押すごとにフォトライトのON／OFFを切り替えます。

●(iα)(機能)を押して「明るさ調節」を選択すると、明るさを−3(暗い)〜+3(明るい)で調節できます。

●(○)を押すと縮小表示され、(○)を押すと元の表示に戻ります。

3 (●)(開始)を押す

コードが読み取られます。(シャッター音は鳴りません。)

●読み取りを中止する場合は(CLR)または(●)(中止)を押します。

●読み取りが完了すると読み取り完了音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。音量は固定されており変更できません。ただし、マナーモードや「着信音量」の「電話」が「消去」に設定中は音が鳴りません。

●メロディのデータは「♪」、対応していないデータや破損しているデータは「▣」や「🖼」で表示されます。

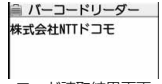
●文字入力(編集)中の場合はコード読取結果画面は表示されず、読み取ったコードの文字データ確認画面が表示されます。読み取った文字を入力する場合は(●)(確定)を押します。破棄する場合は(✉)(取消)または(CLR)を押します。表示できない文字は半角スペースに置き換えて表示されます。また、文字データのないコードを読み取った場合、正しく表示されません。

●読み取り中に一定の時間が経過しても読み取れない場合は、読み取りが中断され、コード読取画面に戻ります。

●読み取ったコードが分割されたQRコードの一部の場合、「OK」を選択して手順2〜手順3を繰り返して残りのデータを読み取ります。

4 (iα)(機能)▶認識結果保存▶OK

読み取ったデータが登録されます。



コード読取結果画面

お知らせ

●JANコード、QRコード、CODE128以外のバーコード・二次元コードは読み取れません。

●読み取りに時間がかかる場合があります。読み取り中は、FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。

●傷、汚れ、破損、印刷物の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては、正しく読み取りできない場合があります。

●バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。

コード読取結果画面の機能メニュー

認識結果保存	P.246参照
一覧表示	登録データが1件以上ある場合に、バーコードリーダー一覧画面を表示します。
Internet	選択中のURLにｉモードまたはフルブラウザで接続します。 ▶**ｉモードブラウザ・フルブラウザ**▶**YES** ●URLを選んで●(選択)を押しても接続できます。
ｉモードメール作成	選択中のメールアドレスを宛先としたｉモードメールを作成します。P.146手順3へ進みます。 ●メールアドレスを選んで●(選択)を押してもｉモードメールを作成できます。 ●コード読取結果画面で「メール作成」を選択すると、新規メールの宛先、題名、本文にコード読取結果画面のデータが入力されます。
電話発信	選択中の電話番号に音声電話発信、テレビ電話発信、プッシュトーク発信します。 ▶**発信方法を選択** ●「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。 ●「SMS作成」を選択すると電話番号を宛先としたSMSを作成します。P.189手順3へ進みます。 ●電話番号を選んで●(選択)を押しても発信できます。 ▶**発信** ●国際電話をかける場合は「国際ダイヤルアシスト」を選択します。(P.61参照) ●発信者番号通知を設定する場合は「発番号設定」を選択します。(P.59「電話をかけるときに通知／非通知を設定する」手順2参照)
電話帳登録	P.94参照
Bookmark登録	サイト名とURLをブックマークに登録します。 ▶**YES** ●「ページタイトル」を選択するとタイトルを編集できます。 ▶**OK**▶**登録したいフォルダを選択**
画像保存	読み取った画像データを保存して、待受画面などに設定します。 ▶**保存したいフォルダを選択** P.208手順3へ進みます。 ●保存している画像がいっぱいのときはP.210参照。
メロディ保存	読み取ったメロディデータを保存して、着信音などに設定します。 ▶**YES**▶**保存したいフォルダを選択** P.209手順3へ進みます。 ●「♪」を選択するとメロディが再生されます。 ●保存しているメロディがいっぱいのときはP.210参照。
トルカ保存	読み取ったトルカデータを保存します。 ▶**保存したいフォルダを選択** ●「トルカ」を選択するとトルカが表示されます。 ●保存しているトルカがいっぱいのときはP.210参照。
ｉアプリ起動	読み取ったデータからｉアプリを起動します。 ▶**YES**
コピー	▶**コピーする始点を選択**▶**コピーする終点を選択** ●全角5000文字/半角10000文字までコピーできます。 ●コピーした文字を貼り付けるにはP.434参照。

お知らせ

＜Internet＞
- URLは半角512文字まで表示されます。

＜ｉモードメール作成＞
- 入力できない文字が含まれていた場合、宛先は入力されません。また、本文は文字がスペースになることがあります。

＜電話発信＞
- 「110」「119」「118」を読み取っても緊急通報することはできません。

＜Bookmark登録＞
- URLは半角512文字まで表示され、先頭から256文字のみ登録できます。

＜画像保存＞
- 保存された画像のファイル名、タイトル名は「imageXXX」(XXXは数字)となります。

お知らせ

＜メロディ保存＞

- 保存されたメロディのファイル名は「melodyXXX」(XXXは数字)となります。
- タイトルが付けられていないメロディはファイル名がタイトルになります。
- メロディを再生する際、「着信音量」の「電話」で設定した音量で再生されます。

保存データー覧を表示する

1 (MENU)▶**LifeKit**▶**バーコードリーダー**▶**保存データー覧**

登録済みのデータのタイトルが登録時の新しいものから順に表示されます。

- タイトルを選択すると、コード読取結果画面が表示されます。

バーコードリーダー一覧画面

お知らせ

- 読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。

(例)2009年11月18日10時00分に保存した場合
タイトル名:20091118_1000_0000
・同じ日時で複数保存した場合は下4桁の数字が「9999」まで順に増えます。

バーコードリーダー一覧画面の機能メニュー

タイトル編集		▶**タイトルを入力** 全角9文字/半角18文字まで入力できます。
結果表示		登録されているデータのコード読取結果画面が表示されます。
削除		
	1件削除	▶**YES**
	全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**